



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 共同ピーアール株式会社

コード番号 2436 URL <https://www.kyodo-pr.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 石栗 正崇

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部本部長 (氏名) 信澤 勝之 TEL 03-6260-4850

半期報告書提出予定日 2024年8月13日

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	3,567	9.3	565	26.5	576	27.0	264	8.5
2023年12月期中間期	3,263	47.8	447	4.1	454	1.0	243	△27.4

（注）包括利益 2024年12月期中間期 315百万円（7.4%） 2023年12月期中間期 293百万円（△16.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	30.50	30.11
2023年12月期中間期	28.32	27.82

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	5,447	3,593	58.0
2023年12月期	5,428	3,330	54.8

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 3,161百万円 2023年12月期 2,972百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	8.8	1,050	24.9	1,050	21.7	580	18.9	66.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

### ※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	8,794,992株	2023年12月期	8,794,992株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	105,391株	2023年12月期	131,420株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	8,673,000株	2023年12月期中間期	8,611,666株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間 .....	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(追加情報) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年1月1日～2024年6月30日)における日本国内の経済環境は、社会経済活動の正常化や雇用情勢に改善の動きが見られる一方、世界情勢による原材料価格の高騰や、不安定な為替相場による物価上昇の影響等により、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは2024年3月に発表した中期経営計画「New' S d e s i g n c o m p a n y」の目標達成に向けて、各種施策に取り組んでおり、主力のPR事業ではインバウンド需要の高まりを背景に引き続き既存リテナーの獲得や収益性の向上に注力するとともに、グループ会社のサービス拡大や新規事業を推進してまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間における売上高は3,567百万円(前年同期比9.3%増)、営業利益565百万円(同26.5%増)、経常利益576百万円(同27.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益264百万円(同8.5%増)となりました。

各セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ①PR事業

主力のPR事業では、中期経営計画に掲げる事業戦略の一環として、人的資本の強化のためデジタル教本を作成し、自社のPRオペレーションツール「SAKAE」に、AIアシスタント機能やAI論調・報道分析機能を実装するなど、「PR-DX化」を推進しました。また前期から引き続き、国内外のIT・情報通信・テクノロジー関連を中心にリテナー契約を伸長させるとともに、オプショナル&スポット案件やペイドパブリシティ案件についても、さまざまな業界のクライアント様から大型案件を複数受託するなど好調に推移しました。

この結果、PR事業における当中間連結会計期間の売上高は2,658百万円(前年同期比6.3%増)、セグメント利益462百万円(同7.9%増)となりました。

#### ②インフルエンサーマーケティング事業

中期経営計画に掲げる「Z世代を中心とした女性マーケティングにおけるリーディングカンパニー」への実現を目指し美容マーケティングチームを発足し、これまでのコンテンツ重視からマーケティング重視にシフトして活動を進めてまいりました。所属タレントでは「コスメヲタちゃんねるサラ」のYouTube登録者数が100万人を突破したことを記念として、アットコスメTOKYO&OSAKAで記念イベントを開催するなど、SNS広告や企業マーケティング案件を獲得したほか、トップクリエイターと「めるぷち」「Me1TV」「CULDRAM A」の3チャンネルの成長が著しく、大幅に売上増加となりました。女性パワーインフルエンサーの開発・育成やマーケティング戦略により、今後更なる美容領域の売上拡大の可能性を見込んでおります。

この結果、インフルエンサーマーケティング事業における当中間連結会計期間の売上高は459百万円(前年同期比25.5%増)、セグメント利益51百万円(同477.4%増)となりました。

#### ③AI・ビッグデータソリューション事業

今年より取り組みを開始したDataikuをプラットフォームとした生成AI活用の新規事業が好評を博し、順調な立ち上がりでストック案件の増加により売り上げに貢献しました。また、Salesforce社が提供するビジュアル分析プラットフォームTableauを導入・活用したい顧客向けに導入支援や活用支援を提供するなど、Tableauが持つ機能と性能を最大活用するコンテンツが評価され、昨年に続き2年連続で「Salesforce Japan Partner Award」を受賞したことなどから、安定的に売上を伸ばしました。

この結果、各サービスが好調に伸びた影響により、AI・ビッグデータソリューション事業における当中間連結会計期間の売上高は449百万円(前年同期比13.5%増)、セグメント利益115百万円(同56.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の変動状況

##### (資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は4,274百万円となり、前連結会計年度末に比べ134百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が288百万円増加した一方、売掛金が138百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は1,173百万円となり、前連結会計年度末に比べ115百万円減少いたしました。これは主に、無形固定資産が79百万円、投資その他の資産が33百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は5,447百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円増加いたしました。

##### (負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は1,399百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が174百万円、1年内返済予定の長期借入金が27百万円、未払金が43百万円減少したこ

と等によるものであります。固定負債は454百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が91百万円、繰延税金負債が13百万円減少したこと等によるものであります。この結果、負債合計は1,854百万円となり、前連結会計年度末に比べ242百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は3,593百万円となり、前連結会計年度末に比べ262百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が177百万円増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は58.0% (前連結会計年度末は54.8%) となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物 (以下「資金」という。) は、前連結会計年度末に比べ288百万円増加し、2,945百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は504百万円 (前年同期間は270百万円の獲得) となりました。これは主に、仕入債務の減少174百万円といった資金減少要因があった一方で、税金等調整前中間純利益の増加547百万円、賞与引当金の増加45百万円、売上債権の減少150百万円といった資金増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果支出した資金は15百万円 (前年同期間は28百万円の支出) となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入13百万円といった資金増加要因があった一方で、定期預金の預入による支出13百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出14百万円といった資金減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果支出した資金は205百万円 (前年同期間は262百万円の支出) となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出119百万円、配当金の支払額86百万円といった資金減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想について、2024年2月13日に公表した「2023年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,691,209	2,979,806
受取手形	2,200	—
売掛金	1,238,931	1,100,116
契約資産	18,035	8,417
未成業務支出金	129,087	130,480
その他	69,174	63,315
貸倒引当金	△9,257	△7,893
流動資産合計	4,139,382	4,274,243
固定資産		
有形固定資産	135,189	133,303
無形固定資産		
のれん	511,639	436,891
その他	71,116	66,092
無形固定資産合計	582,755	502,984
投資その他の資産		
投資有価証券	188,484	153,237
関係会社株式	16,057	18,609
破産更生債権等	58,572	51,359
敷金及び保証金	190,904	188,958
繰延税金資産	40,546	32,365
退職給付に係る資産	133,037	140,596
その他	1,808	3,522
貸倒引当金	△58,572	△51,359
投資その他の資産合計	570,838	537,289
固定資産合計	1,288,783	1,173,576
資産合計	5,428,165	5,447,820
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	521,566	346,660
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	229,029	201,068
未払金	168,959	125,200
未払法人税等	143,768	221,176
契約負債	59,536	79,775
賞与引当金	88,720	134,331
その他	270,795	241,594
流動負債合計	1,532,375	1,399,806
固定負債		
長期借入金	487,526	395,719
退職給付に係る負債	11,201	12,166
役員退職慰労引当金	1,983	2,125
繰延税金負債	23,836	10,029
その他	40,266	34,782
固定負債合計	564,815	454,822
負債合計	2,097,190	1,854,628

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	547,891	547,891
資本剰余金	538,512	542,161
利益剰余金	1,874,686	2,052,543
自己株式	△83,261	△66,762
株主資本合計	2,877,829	3,075,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,251	56,884
退職給付に係る調整累計額	31,975	28,617
その他の包括利益累計額合計	94,226	85,502
新株予約権	118,210	131,641
非支配株主持分	240,708	300,213
純資産合計	3,330,974	3,593,191
負債純資産合計	5,428,165	5,447,820

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,263,505	3,567,204
売上原価	1,810,113	1,937,695
売上総利益	1,453,391	1,629,509
販売費及び一般管理費	1,006,220	1,063,894
営業利益	447,171	565,614
営業外収益		
受取利息	17	14
受取配当金	427	656
受取賃貸料	3,579	3,841
為替差益	6,010	9,472
持分法による投資利益	—	2,551
保険解約返戻金	6,395	—
その他	2,867	530
営業外収益合計	19,297	17,066
営業外費用		
支払利息	3,441	3,011
不動産賃貸費用	2,303	2,491
持分法による投資損失	5,718	—
その他	769	257
営業外費用合計	12,234	5,759
経常利益	454,235	576,921
特別損失		
固定資産除却損	54	234
投資有価証券評価損	—	29,374
特別損失合計	54	29,608
税金等調整前中間純利益	454,180	547,312
法人税、住民税及び事業税	176,008	225,093
法人税等調整額	10,128	△1,778
法人税等合計	186,136	223,315
中間純利益	268,043	323,997
非支配株主に帰属する中間純利益	24,191	59,504
親会社株主に帰属する中間純利益	243,852	264,492



(中間連結包括利益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	268,043	323,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,063	△5,366
退職給付に係る調整額	410	△3,357
その他の包括利益合計	25,474	△8,724
中間包括利益	293,518	315,273
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	269,326	255,768
非支配株主に係る中間包括利益	24,191	59,504

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	454,180	547,312
減価償却費	36,909	27,962
のれん償却額	69,482	74,747
株式報酬費用	33,517	21,871
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,638	△8,576
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,060	45,611
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△32,900	141
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	△8,823	△11,432
受取利息及び受取配当金	△444	△670
支払利息	3,441	3,011
固定資産除却損	54	234
保険解約返戻金	△6,395	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	29,374
持分法による投資損益 (△は益)	5,718	△2,551
売上債権の増減額 (△は増加)	111,754	150,634
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△24,488	△1,392
仕入債務の増減額 (△は減少)	△38,373	△174,905
前受金の増減額 (△は減少)	23,333	20,238
未払費用の増減額 (△は減少)	△22,415	△21,201
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△51,603	△9,658
その他	△93,739	△36,987
小計	463,630	653,763
利息及び配当金の受取額	133	491
利息の支払額	△3,442	△3,066
法人税等の支払額	△189,638	△147,015
営業活動によるキャッシュ・フロー	270,683	504,172
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△34,143	△13,100
定期預金の払戻による収入	25,542	13,101
有形及び無形固定資産の取得による支出	△35,601	△14,054
投資有価証券の取得による支出	△1,845	△1,860
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	3,417	—
保険積立金の積立による支出	△133	—
保険積立金の解約による収入	14,758	—
その他	—	105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,005	△15,808
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△144,434	△119,768
ストックオプションの行使による収入	614	—
自己株式の取得による支出	△49,831	△23
配当金の支払額	△69,208	△86,247
その他	—	621
財務活動によるキャッシュ・フロー	△262,859	△205,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,967	5,877
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,214	288,823
現金及び現金同等物の期首残高	2,291,636	2,656,181
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,275,421	2,945,004

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年3月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式26,060株の処分を行いました。この結果、当中間連結会計期間において自己株式が16,499千円減少し、当中間連結会計期間末において自己株式が66,762千円となっております。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（追加情報）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	PR事業	インフルエンサーマーケティング事業	AI・ビッグデータソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,501,549	365,738	396,217	3,263,505	—	3,263,505
セグメント間の内部売上高 又は振替高	500	2,180	1,626	4,306	△4,306	—
計	2,502,049	367,918	397,843	3,267,811	△4,306	3,263,505
セグメント利益	428,791	8,975	73,630	511,397	△64,225	447,171

(注) 1. セグメント利益の調整額△64,225千円には、のれん償却額△64,217千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△8千円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	PR事業	インフルエンサーマーケティング事業	AI・ビッグデータソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,658,180	459,128	449,896	3,567,204	—	3,567,204
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,950	1,626	8,576	△8,576	—
計	2,658,180	466,078	451,522	3,575,780	△8,576	3,567,204
セグメント利益	462,481	51,823	115,516	629,821	△64,206	565,614

(注) 1. セグメント利益の調整額△64,206千円には、のれん償却額△64,217千円、各報告セグメントに配分していない全社費用10千円が含まれております。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。